

赤福の朔日餅

総務課 宇都宮 千怜

三重のお土産と言えば何？と聞かれると、『赤福餅』と言うくらい赤福は知られています。三重に住んでいながらも、お土産に赤福をもらうととても嬉しいです。

もともと小豆が苦手だった私ですが、なぜか赤福餅だけは昔から食べる事が出来ました。小豆を好きになったのも、23歳の頃に初めておかげ横丁で赤福ぜんざいを口にしてからと言うくらい、私の中で赤福は和菓子の美味しさを教えてくれたとても大きな存在です。

夏季限定の赤福氷や、寒い時期の赤福ぜんざいなど、今ではお店に行くといついつい並んで食べてしまうほど大好きになりました。

伊勢には、毎月一日に普段より早く起きて、神宮へお参りする「朔日（ついたち）参り」という習わしが残っています。無事に過ごせた一ヶ月を感謝し、また新しい月の無事を願ってお参りします。

この朔日参りのお客様をお迎えするために作り始めたのが「朔日餅」です。発売開始は昭和53年のこと。元日を除く毎月朔日（ついたち）に限り販売しており、季節ならではのお菓子をお楽しみいただけます。（HPより）

色々調べてみると、朔日餅を買い求めて本店まで行かれる方は前日の深夜から並ぶそうです。早朝4時半にお店が開き6時には売り切れてしまうそう。一度は全部食べてみたいと以前から思っていたましたが、平日の朝早くから伊勢まで行っていない。想像していたよりはるかにハードルが高く、これはきっと無理だな…と諦めていました。

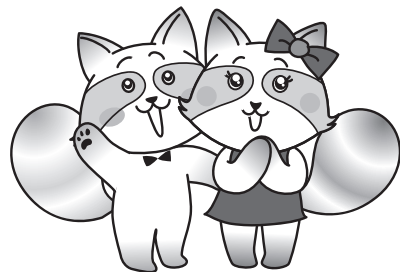
それが昨年思わぬところから念願の朔日餅をお裾分けで頂く機会がありました。一体どうやって？と不思議に思っていたところ、予約をしておくとお手に入れることが出来るそうです。



2月	立春大吉餅	節分という事で黒豆を包んだ大福ときなこをまぶした豆大福の2種類です。
3月	よもぎ餅	桃の節句にちなんだよもぎ餅です。
4月	さくら餅	桜にちなんだお菓子でさくら餅です。
5月	かしわ餅	横に細長いかしわ餅でした！鯉のぼりのイメージなのでしょうか？
6月	麦手餅	1番好きです。もち麦粉の餅生地で素朴な中に甘さがあり、一番のお気に入りです。
7月	竹流し	唯一お餅でない朔日餅で竹羊羹です。本物の竹に入っていてインパクトがありました。さっぱりとした水ようかんで、冷やして食べると格別です。
8月	八朔栗餅	あわ餅に、黒糖味の餡がのっています。栗も入っています。
9月	萩の餅	少しだけ塩味が効いているさっぱりとしたおはぎです。
10月	栗餅	栗餡の上にまだ形の荒いもち米の上に栗かな？と思ったら栗羊羹がのっていました！見た目も素敵です。
11月	糸びす餅	打ち出の小槌のマークが付いた黒糖風味のお餅と、ゆず風味のお餅の2種類です。
12月	雪餅	もろこし粉入りの餅で本当に雪化粧をした大地のような見た目でした。



お餅を食べていると何だか縁起の良い気がするものばかりで楽しく、包装に使用されている伊勢千代紙も月替わりでとてもきれいで印象に残りました。



引用先URL: <http://www.akafuku.co.jp/product/tsuitachimochi/>

簡単美味しいイチゴ大福

総務課 西村 知子

初夏を感じさせる今日この頃、もう少し春の味覚を楽しみたい！そんなあなたにイチゴ大福のレシピをご紹介します。イチゴ以外のフルーツでも楽しめます。ぜひお試しください！



イチゴ大福

材料

- ・いちご……………12個
- ・こしあん又は粒あん……360g
- ・白玉粉……………150g～200g
- ・砂糖……………70g
- ・水……………180cc
- ・片栗粉……………大さじ2

作り方

- ①いちごは洗って水気をきり、へたを取ってあんこで包む。
- ②耐熱容器に白玉粉を入れ、水を加えて溶かす。
- ③砂糖を入れてかき混ぜる。
- ④フタをしてレンジ（600w）で2分半加熱。
- ⑤レンジから取り出し、かき混ぜる。
- ⑥再度、フタをして2分レンジで加熱して混ぜる。
生地が半透明になるまで様子を見ながら加熱→混ぜるを繰り返す。
- ⑦半透明になったら、片栗粉の上に取り出す。
温かいうちに両手に片栗粉をつけ、①のイチゴを包んでいく。

・包み方ポイント・

生地の真ん中を厚めに、円形に大きく伸ばし、イチゴにかぶせるようにして、底を包み丸めてから掌にのせてコロコロするとキレイに包めます。
片栗粉は両手にまんべんなく付けると、生地が手につかずに形が整います。



新入社員紹介



リビングサービス課
中川 拓哉

初めまして。4月3日付でアポロ興産へ入社しました中川 拓哉（なかがわ たくや）と申します。
私は皇学館大学に通っていました。在学中は主に、観光、経済、福祉、伝統など地域社会の勉強をしていました。
趣味は、サッカー・フットサルです。サッカーは、小学生のころから初め現在も社会人のサッカーチームに所属しています。サッカーだけでなく団体スポーツはコミュニケーションが必要になります。会社でも同じでチームワークが必要になるので、サッカーで培ったコミュニケーション能力を活かし一生懸命頑張ります。
私は幼少期から伊賀市で育ち、将来は地元である伊賀市に貢献したいと思っていました。そこで地域密着で活躍しているアポロ興産の仕事内容や職場の雰囲気に興味を持ち入社を決めました。
知識や経験もなく0からのスタートなので不安もありますが、先輩方に教わりながら早く一人前になり、皆様のお役に立てるように精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。